

新しい風
藤澤 恭子



藤澤議員のすべての
一般質問が視聴
できます



自転車活用でさらなる人づくり、まちづくりを

Q 自転車活用は、環境問題、健康意識、観光政策、災害時の有効性など注目を浴びている。パラリンピックメダリスト杉浦選手の出身地である当市こそ、自転車活用推進計画の早急な策定が必要ではないか。



A 静岡県では、サイクルスポーツの聖地創造を目標に掲げ、自転車競技の振興など各種施策を推進しています。県内では、35市町中9市町が活用計画を策定するなど、少しずつ機運の醸成がみられます。庁内関係各課においてどのような施策が考えられるか協議し、関係団体等との意見交換、海岸線地域ビジョン実施計画との整合を図りながら、計画策定を検討していきます。

大東総合運動場のさらなる活性化を

Q さまざまなスポーツ施設が備わっている大東総合運動場は、潮騒橋や海辺の美しい環境もあり、試合や合宿の人气が高い。老朽化している野球場を硬式野球場が可能な設備に整備すべきではないか。

A 硬式野球場に取り組む利用者から同様の声をいただいています。硬式野球場に対応するには、主にファウルボール対策で防球ネットを追加設置する必要があり、多額の費用を要しますが、総合運動場の施設全体の方向性を検討する中で、野球場の整備を検討していきます。

【その他の質問事項】

・掛川市営富士見台霊園の整備について

日本共産党
議員団
勝川 志保子



勝川議員のすべての
一般質問が視聴
できます



学校再編での適正規模・適正配置には柔軟な対応が可能か

Q 小中学校の適正規模と適正配置は、法律上確定されたものではなく、文科省も手引きの中で、地域の実情に合わせて柔軟に対応するよう指示しているが、そう考えてよいのか。

A 適正規模・適正配置については国の法令や手引き等により一定の基準は示されていますが、学校教育法施行規則では「特別の事情があるときは、この限りではない」とされており、法令上、弾力的な運用が認められています。学校再編においても、市が取り組む小中一貫教育や、中学校区学園化構想等を踏まえた市にふさわしい新たな学校づくりを進めていきたいと考えています。

原発の再稼働を市長はどう考えるか

Q 市長が再稼働の考えとして挙げている「安全安心が確保される」という中には、国の再稼働要件にない「実効性のある広域避難計画の策定」や「安定ヨウ素剤の事前配布」などは含まれるのか。

A これまで一貫してお伝えしている文言の中に、実効性のある広域避難計画の策定や、安定ヨウ素剤の事前配布などが含まれるのかについては、いずれも安全・安心上の課題であると認識しており、引き続き課題解決に向けて努力していきます。



事前処方が必須の安定ヨウ素剤

A 安全・安心上の課題であり、引き続き課題解決を目指す

【その他の質問事項】

・「コロナ感染から市民の命と健康を守るために」